

～上桂川の生物多様性のためにできること～

上桂川 セミナー 『陸封アユ』

日時 令和2年2月29日(土)

午後1時～午後4時

場所 右京区京北周山町上寺田1-1
京都市京北合同庁舎 ホール(3階)

上桂川のアユはどこで産卵するの？

生まれたアユはどこにいるの？

R1.8.4 世木ダム直下に群れる稚アユとオイカワ (撮影:中筋祐司)

上桂川のアユは、令和の大嘗祭に「干しアユ」を献物として納められるなど、右京区京北屈指の食材として名高く、また、かつては、はるばる大阪湾(海)から天然遡上する、豊かな生物多様性のシンボルとして地域に親しまれてきました。

しかし、近年は、都市化等の環境の変化により、自然繁殖はかなわず、漁業協同組合による放流アユに頼るところが大きくなっています。

一方、この初夏に、上桂川の下流にある日吉ダムにおいて、稚アユの群れが確認されました。これらはダム湖を海と見立てて越冬する陸封型のアユと考えられています。

この度、「陸封アユ」に焦点をあて、上桂川のアユを取り巻く生物多様性のためにできることを、参加者の皆様と共に考えるセミナーを開催します。

皆様の御来場を心よりお待ちしております。

司会進行 京都市産業観光局京北農林業振興センター 施設係長 高室孝佳
開会挨拶 上桂川を守る会 代表 奥居正敏(上桂川漁業協同組合専務理事)

講演内容は

1 上桂川における陸封アユの現状

① 上桂川のアユの卵と世木ダム直下に群れるアユ

京都市産業観光局京北農林業振興センター 所長 中筋祐司

2 陸封アユの学識的知見や活用事例

② 陸封アユの生態

淀川河川レンジャー 谷口順彦(農学博士 京都大学)

③ 陸封アユのためにできること

九州・水生生物研究所 所長 稲田善和(農学博士 愛媛大学)

④ 天然アユ資源の活用促進

京都府農林水産部水産課 課長補佐 谷 則和

3 これからの上桂川と陸封アユのために

⑤ 上桂川のアユと産卵場保護

上桂川漁業協同組合 代表理事組合長 芦田次義

⑥ 上桂川における陸封アユのこれから

上桂川を守る会 代表 奥居正敏(上桂川漁業協同組合専務理事)

⑦ 質疑・討論

閉会挨拶 上桂川漁業協同組合 代表理事組合長 芦田次義